

# 小学校外国語活動を 中学校英語に活かす

小・中をつなぐ橋をかける

開隆堂 編集部



開隆堂

# 「やっぱり中学校の英語の先生はプロだなあ…」と思わせるポイント

いよいよ小学校で外国語活動を経験してきた児童が中学校に入学してきます。

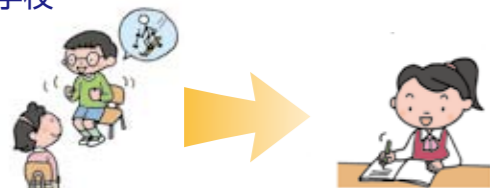
小学校とは違う、中学校のプロの英語の先生ならではのと思わせるポイントについて考えてみたいと思います。

## 1 小学校外国語活動と中学校英語のプロセスの違いを理解しましょう。

小学校外国語活動はジェスチャーや表現、表情まで含めて相手の言いたいことがわかり、自分の言いたいことを伝える「コミュニケーション能力の素地」を養うものです。

中学校英語は英語のルールを知った上で言語材料の定着を図るコミュニケーション活動を行いますので学びのプロセスが逆といえます。

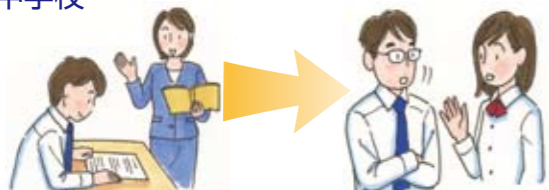
### 小学校



コミュニケーション

習得

### 中学校



習得

コミュニケーション

小学校外国語活動と中学校英語プロセスの違いを中学校の英語の先生はおさえたうえで、指導方法を考える必要があります。

## 2 英語の学習方法を指導しましょう。

まず、中学校の英語学習は小学校外国語活動活動とはプロセスが違います。

中学校の英語学習を始める際、まずはこの違いを認識させて、授業のルール、教科書の使い方、ノートのとり方などをきちんと指導することが求められます。家庭学習や英語の勉強方法などの指導を通して中学校ではどのように学習するかをイメージさせるとよいでしょう。

## 3 正しい発音を身につけさせましょう。

小学校では英語教育の専門家ではない学級担任が英語活動をする事が多く、学級担任には、英語を教えることよりも、児童と一緒に臆せず積極的にコミュニケーションを図ろうとする学習者としてのモデルになることが求められています。しかし、中学校の英語の先生には小学校の学級担任とは異なった「英語学習のプロの指導者」としての役割があります。また、小学校では発音の間違いを矯正する指導は基本的に行いません。そこで、中学校入学の早い段階から生徒がどの程度正しい発音を身につけているかをチェックしておく必要があります。発音の仕方を説明すると効果的な場合が多いので、計画的、組織的、集中的に指導しましょう。

## 4 きちんと文字指導をしましょう。

小学校ではアルファベットの音と大文字・小文字の認識までの指導が求められています。音から文字への移行をスムーズにするためにも、

中学校入学の早い段階からアルファベットの音と文字の関係を理解させる必要があります。そのときに、小学校の国語科で学んできているローマ字についての復習も効果があります。小学校ではローマ字の指導にあてる時間数が少ないため、なかなか定着できていないのが現状です。

中学校では音とつづり字の関係も理解させ、単語を覚えやすくする必要があります。最初は『英語ノート』で学ぶ慣れ親しんだ単語の中から主に音とつづり字が一致する単語を扱い、音とつづり字が一致しない単語は少なくしておきましょう。

## 5 単語やフレーズをそのまま覚える小学校英語から規則学習へ移行させましょう。

小学校では単語やフレーズをまるごと覚えて表現しますが、中学校では文法という視点から再認識させます。小学校で学んだ「ハウアーユー」が“How are you?”の3語からなっていることをわからせ、中学校英語の視点から既知の事柄を整理して生徒の知的好奇心を刺激しましょう。

## 6 「聞く」「話す」から「読む」「書く」も加えた4技能の総合的な育成と統合的な活用を意識しましょう。

中学校の学習指導要領では4技能の総合的な指導を通してこれらを統合した活用が求められています。小学校で慣れ親しんできた音声を文字に結びつける指導を行ったり、音読指導を

行ったり、「聞いてから書く」、「読んでから言う」のように4技能を統合した指導を行い、中学校英語ならではの活動にしましょう。

## 7 小学校外国語活動のよいところはうまく生かしましょう。

小学校外国語活動のよい面として、生徒は外国の人と話したり英語を聞いたりする活動に抵抗がなくなっており、活動の進め方に慣れていることが挙げられます。よいところはどんどん取り入れながら、スムーズに中学校英語への橋渡しをすることが求められます。

### プロだなあと思わせるポイント

- 1 小学校外国語活動と中学校英語のプロセスの違いを理解しましょう。
- 2 英語の学習方法を指導しましょう。
- 3 正しい発音を身につけさせましょう。
- 4 きちんと文字指導をしましょう。
- 5 単語やフレーズをそのまま覚える小学校英語から規則学習へ移行させましょう。
- 6 「聞く」「話す」から「読む」「書く」も加えた4技能の総合的な育成と統合的な活用を意識しましょう。
- 7 小学校外国語活動のよいところはうまく生かしましょう。

小学校外国語活動についてもっと詳しく知るために、その疑問についていくつか考えてみましょう。

# 小学校外国語活動 Q&A

文部科学省のウェブサイトほかより作成。

**Q1** 小学校外国語活動の目標では、「外国語を通じて、言語や文化について体験的に理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しませながら、コミュニケーション能力の素地を養う」とありますが、具体的にはどのような指導内容を想定していますか。

**A1** 「コミュニケーション能力の素地」とは、小学校段階で外国語活動を通して養われる、言語や文化に対する体験的な理解、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度、外国語の音声や基本的な表現への慣れ親しみを指したものです。これらは中・高等学校の外国語科で養うこととしているコミュニケーション能力を支えるものとなります。

**Q2** 小学校外国語活動の目標に示されている「三つの柱」とは何ですか。

**A2** 以下の3つを指します。

- 1 外国語を通じて、言語や文化について体験的に理解を深める。
- 2 外国語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図る。
- 3 外国語を通じて、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しませる。



**Q3** 小学校外国語活動で中学校英語の前倒しをしてもよいですか。

**A3** 小学校外国語活動では、中学校英語の前倒しをしてはいけません。小学校では、スキルの向上よりも、児童が積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成に重点が置かれています。ですから、「慣れ親しませる」となっていて、語学的な理解・定着を求めているのです。

**Q4** 文字指導については、どの程度まで扱いますか。

**A4** アルファベットなどの文字指導については、アルファベットの大文字および小文字に触れる程度にとどめ、児童に対して過度の負担を強いることなく指導することになっています。

**Q5** 音とつづり字の関係についてはどの程度指導するようになっていますか。

**A5** 音とつづり字を関係付ける指導については、中学校で扱うこととなっています。小学校の外国語活動では扱いません。小学校の外国語活動では、学級担任やALTなどのほかにCDやICT教材などを有効に活用するなど工夫し、児童に積極的に発音させる機会を設けるようになっています。

**Q6** 小学校の外国語活動を踏まえて、中学校ではどのようなことに留意する必要がありますか。

**A6** 中学校の指導計画の作成にあたっては、小学校での外国語活動を通じて培われたコミュニケーション能力の素地を踏まえて、中学校での外国語学習へ円滑に接続できるように配慮する必要があります。そのため、中学校においては、地域の小学校における外国語活動の指導内容について、学んできた単語や表現などをきめ細かく把握することが、特に中学校第1学年の指導内容と指導計画を作成する際には重要となります。

また、小学校においても、中学校英語において「コミュニケーション能力の基礎を養う」ためにどのような指導が行われているかについて十分に研究したうえで小学校外国語活動の指導計画を作成する必要があります。

具体的には、例えば、発音とつづり字の関係について、音声を中心に慣れ親しんできた小学校の外国語活動を受けて中学校では文字を加えた学習が始まります。小学校で“play”や“thank”などの音声を、中学校では文字でどのように表すかを学ぶ際に、その両者を関連付けて指導するとよいでしょう。

# 『英語ノート』から SUNSHINEへ

## 「英語ノート」(試作版)の制作に携わった開隆堂だからできる小中連携



平成 23 年 4 月から小学校で外国語活動が全面実施となりました。中学校の先生方が小学校の外国語活動の授業を参観したり、中学校の英語の授業を小学校の先生方が参観する取り組みが増えています。小学校、中学校の先生方が学校の枠を越えて、互いに理解を深め、小・中をつなぐ橋をかけることがますます大切となってきます。

小学校の先生にとっては、小学校で学んだことについての履歴を残し、中学校の先生に繋いであげることが大切です。

中学校の先生が注意しなくてはならないのは、小学校で外国語活動を行ってきても、小学校では表現の定着までは目標としていません。そこで、中学校入学時に生徒が既に使えるくらい慣れ親しんでいる表現であったとしても、それは小学校で学んできた副次的なものであ

ると理解し、「～は小学校でやってきているから知っているだろう」という過大な期待をもって指導を行うことは避けなくてはなりません。

小学校の外国語活動を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度が育成されており、英語の音声や基本的な表現に慣れ親しんでいることが期待されます。

小学校の外国語活動を踏まえ、中学校 3 年間の目標を見据えて第 1 学年の指導計画を作成する必要があります。

小学校の外国語活動導入にあたり、開隆堂では文部科学省の委託を受け『英語ノート』の制作に協力しました。小学校の外国語活動を熟知しているからこそできる小・中のスムーズな接続について、SUNSHINE ENGLISH COURSE では入門期の指導を提案しています。その紙面を参照しながら入門期の指導を考えてみましょう。

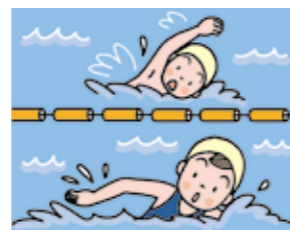
小学校外国語活動から



スムーズに



中学校英語に



## SUNSHINE の入門期の工夫

中学校 1 年生の SUNSHINE 1 では本課である PROGRAM に入る前に小学校外国語活動から中学校英語へスムーズな移行を目指した Let's Start 1～4 を設けました。

### Let's Start 1 「できる！」という自信をもって中学校英語をスタートしましょう。



小学校英語活動の成果が確認しやすいよう吹き出しを空欄にし、自由な発話をうながしました。いろいろなあいさつが出ることによって「学び合い」が起こるようになっていきます。

**Let's Start 2** 外国語活動で学んだ語彙力と表現力の広がり  
把握・確認しましょう。



小学校英語は、身近な話題を取り上げることが多いので、日用品や文具の名前など、中学校の教科書ではあまり扱われない具体物の語彙を生徒が習得していることが考えられます。ここでは、状況を提示するイラストを使って、創造的に多様な活動を行うことができます。たとえば、教師が“a car”, “a red box”, “You can see a cat.” と言うのを聞いて、生徒がそれをイラストの中から探して指さす。教師がイラスト中の本をさして、“We can see some books on the desk. How many books can you see? Let's count together. One, two, three...” と言ってインタラクショ  
ンを図りながら、生徒と一緒に本の数を数える。さらに “What can you see on the desk?” と教師が質問して、生徒が知っている英語を駆使して自由に答えるなどの活動ができます。

**Let's Start 3** 小・中のギャップを解消し、不安感を安心感に変えます。



文部科学省『英語ノート1』p.24より。

ここでは、生徒が実際にどの程度の聞き取り能力があるのかを確認することができます。扱うタスクは、生徒が『英語ノート』で慣れ親しんでいる形式で、ご覧いただけるとお分かりのとおり『英語ノート』と同じ画家を起用しています。これは、心理的に小・中のギャップを和らげるための配慮です。



**Let's Start 4** どの程度正しい発音が身についているか確認します。  
また、正しい発音を指導しはじめるためのページです。



小学校で触れた外来語を利用して確認します。英語らしい発音を聞いて理解できるか、英語らしく発音できるか、受容と発表の両者のレベルを把握しながら、英語らしい発音に慣れさせます。

外来語は生徒にとって親しみがあり、日本語と英語の対比がわかりやすいので、取り組みやすい学習です。ただし、入門期には、個人の発音を取り上げてこと細かに矯正することは避けます。通じることを大切にする小学校英語では、発音を矯正することはまれなので、小学校では通じた発音が中学校で直されると、意欲をそぐことがありますので、クラス全体で指導しましょう。

# 文字の扱い

小学校の外国語活動と中学校英語で大きく違うのは、文字の扱いです。SUNSHINE では入門期におけるアルファベットの文字と発音の関係の指導を丁寧に行えるよう正規の課 (PROGRAM 1) に位置づけています。

## PROGRAM 1-1 小学校で聞いて読んだアルファベットをふりかえります。

ここでは、アルファベットの大文字・小文字とアルファベットの文字が表す音をふりかえります。



## PROGRAM 1-2 アルファベットの文字が単語の中に入ったときに、それが表す音を導入します。



アルファベットの文字とそれが表す音の関係を理解する活動です。必要に応じて、いつでもルールを確認できるようにしています。また、これに連動させて、教科書の巻末には、教科書に出現した単語を使って、つづり字と発音の関係を整理できるようにしたリストがあります (右図)。既習の単語を利用して多数の事例に触れることで、つづり字と発音の関係に気づき、体系的、帰納的に理解して習得できるように工夫しました。

## PROGRAM 1-3

アルファベットの形をきちんととらえ、正確に「書き写す」活動を通して文字の定着を図ります。



ここではアルファベットの文字の形に注意を向けさせます。文字の形に注意して「なぞる」、よく見て正確に「書き写す」という活動を通して、文字を定着させます。これに連動して教科書の巻末には、ペンマンシップが付いていて、単語や文を実際に書いてアルファベットを覚えることができます。厚手の紙を使っているので、消しゴムで消して何回でもくり返し練習することができます。

## PROGRAM 1 の仕上げ



PROGRAM 1 の最後には、仕上げとして、遊びながらアルファベットの順序と形を確認し、習得するゲームを付けました。「アルファベット迷路」はその一例です。文字の習得には反復練習が欠かせません。生徒が、飽きずにくり返して練習できるように、数種類のゲーム活動があり、消しゴムで消して何度でも使うことができます。

# 『英語ノート』とSUNSHINEの表現対応表

英語ノート 1				SUNSHINE 1						SUNSHINE 2					
Lesson	配当時数	目標	扱う表現	Let's Start	Program	Word Web	My Project	POWER-UP	英語のしぐみ	巻末資料	Program	My Project	POWER-UP	英語のしぐみ	巻末資料
Lesson 1 世界の「こんにちは」を知ろう	3	世界には様々な挨拶があることを知る。	Hello. What's your name? My name is Ken. Nice to meet you.	1	2		1, 3		1				Writing 2		
		挨拶のマナーを知り、積極的に挨拶し、自分の名前を言う。	Hello. My name is Ken. Nice to meet you. Nice to meet you, too.												
		友だちと挨拶をし、作成した名刺を交換する。	What's your name? My name is Ken.												
Lesson 2 ジェスチャーをしよう	4	様々な感情や様子を表す語を知り、そのジェスチャーをする。	How are you? I'm happy/fine/hungry/sleepy.	1	2		3		1						12
		ジェスチャーの大切さを知り、ジェスチャーを付けて思いを伝える。													
		ジェスチャーを付けて、進んで相手に挨拶する。													
		感情や様子を、ジェスチャーを付けて表現し、伝える。													
Lesson 3 数で遊ぼう	4	世界には様々なジェスチャーがあることを知るとともに、1～10の数を言う。	How many? one, two, three, four, five, six, seven, eight, nine, ten	2	4	1			3	1					2
		世界には様々なジェスチャーがあることを理解し、1～20の数を言う。	rock, scissors, paper. One, two, three. How many? eleven, twelve, thirteen, fourteen, fifteen, sixteen, seventeen, eighteen, nineteen, twenty												
		幾つか尋ねたり、1～20の数で答えたりする。	How many?												
		数を扱ったゲームを、友だちと行う。													
Lesson 4 自己紹介をしよう	4	好き嫌いについて聞き取る。	Do you like soccer? Yes, I do. No, I don't. I like baseball.	3	3		1, 3	Listening 1	1	1		4	Listening 2		
		自分の好き嫌いを相手に伝える。													
		友だちに好き嫌いを尋ねる。													
		自分の好きなものを含めて、自己紹介する。	Hello. My name is Mai. I like baseball. Thank you.												
Lesson 5 いろいろな衣装を知ろう	4	世界には様々な衣装があることを知るとともに、衣装の言い方を知る。	Do you like blue? Yes, I do. No, I don't. I don't like blue.	2, 3	3			Speaking 4	1	1			Listening 2		
		自分の意見をはっきりと言うことの大切さに気付くとともに、衣装を買う時の表現を知る。	Do you have blue shoes? Here you are.												
		好みをはっきり言ったり、相手が気持ちよく買物できるように声をかける。	Do you have blue shoes? Yes, I do. No, I don't. I don't like red. Here you are. Thank you.												
		聞き手に自分が買ったものが正しく伝わるように発表する。	I have a red cap. I don't like blue.												

英語ノート 1				SUNSHINE 1						SUNSHINE 2							
Lesson	配当時数	目標	扱う表現	Let's Start	Program	Word Web	My Project	POWER-UP	英語のしぐみ	巻末資料	Program	My Project	POWER-UP	英語のしぐみ	巻末資料		
Lesson 6 外来語を知ろう	4	外来語とその由来の語との発音の違いに気付き、注意して発音する。	banana, cabbage, lemon, tomato, cake, donut, milk, soccer ball, basketball, glove, gorilla, koala, kangaroo, TV, camera, calendar, piano, guitar	4	1, 3												
		相手から尋ねられた際、自分の欲しいものを相手に頼む。	What do you want? Pudding, please.		4	1			Speaking 4	3	1			Speaking 3			
		欲しいものを尋ねたり要求したりして、友だちのフルーツ・パフェを作る	What do you want? Strawberries, please. Here you are. Thank you. You're welcome.														
		作ったフルーツ・パフェを紹介する。	What do you want? Strawberry, orange and apple, please.														
Lesson 7 クイズ大会をしよう	4	英語と日本語の違いを通して、漢字の成り立ちの面白さに気付く。	What's this? It's a pencil.	2	5				3						2		
		What's this? の質問に対して、何について尋ねられているか理解し、答える。	What's this? It's a book.														
		What's this? を使って尋ねる。	What's this? It's a bird.														
		友だちと互いに尋ねたり答えたりして、クイズ大会をする。	What's this? It's a desk.														
Lesson 8 時間割を作ろう	4	外国の小学校では、どのようなものが学習されているか知るとともに、教科の言い方を知る。	I study Japanese. What subject is this?		4			Speaking 4		1, 10			Speaking 2				
		教科名や曜日を扱ったゲームを積極的にする。	I study Japanese on Monday.													2	
		作成した自分のオリジナル曜日時間割を友だちに伝える。	What do you study? I study English. I teach Japanese.														1, 3
		グループで作成した時間割を発表する。	On Tuesday I study Japanese, English and P.E.													2	
Lesson 9 ランチ・メニューを作ろう	4	日本と外国とでは、朝食時に食べるものが異なっていることを知る。	I eat fruit and cereal in the morning.					Speaking 1					Speaking 3				
		食べ物や料理を表す語を知る。															
		丁寧な表現で尋ねたり、自分の欲しいもの伝えたりする。	What would you like? —I'd like juice.														
		グループで作成したオリジナル・ランチ・セットを紹介する。															



英語ノート 2				SUNSHINE 1						SUNSHINE 2						
Lesson	配当時間	目標	扱う表現	Let's Start	Program	Word Web	My Project	POWER-UP	英語のしぐみ	巻末資料	Program	My Project	POWER-UP	英語のしぐみ	巻末資料	
Lesson 1 アルファベットで遊ぼう	3	アルファベットの大文字の読み方を知る。	A ~ Z のアルファベットの大文字 That's right.		1, 7											
		アルファベットの文字の読み方を聞いて、大文字を認識する。	A ~ Z のアルファベットの大文字 1 ~ 20 の数字			1										
		自らアルファベットの文字を読み、大文字とその読み方とを一致させる。	A ~ Z のアルファベットの大文字													
Lesson 2 いろいろな文字があることを知ろう	4	世界の様々な文字に興味を持ち、アルファベットには小文字もあることを知るとともに、21 以上の数を言う。	a ~ z のアルファベットの小文字 21 ~ 100 の数 世界の文字		1	1				3, 8						
		アルファベットの小文字に興味を持ち、小文字を認識する。	a ~ z のアルファベットの小文字 21 ~ 100 の数及び 192													
		自らアルファベットの小文字を読み、小文字とその読み方とを一致させる。	a ~ z のアルファベットの小文字													
		身の回りにあるアルファベット表示に興味を持ち、アルファベットの大文字と小文字とを書き写す。	A ~ Z, a ~ z のアルファベットの文字 What's this?		1, 5					3						
Lesson 3 友だちの誕生日を知ろう	4	日本の行事や特徴を確認し、行事の行われる月の言い方を知る。	January ~ December													
		自分の誕生日を言う。	January ~ December first ~ thirty-first の序数 grandfather, grandmother brother, sister, father, mother When is your birthday?—June.		7, 9	3									13	
		誕生日について、まとまった話を聞いて、その概要を理解する。	January ~ December first ~ thirty-first の序数 When is your birthday? My birthday is ~ .		7		3									
		自分や友だちの誕生日について尋ねたり、答えたりする。	When is your birthday? My birthday is ~ .													
Lesson 4 できることを紹介しよう	4	相手の話を積極的に聞き、何ができ、何ができないかを理解する。	Can you swim? Yes, I can./ No, I can't. I can swim. I can't swim.							1						
		どのようなことができるかを友だちに尋ねたり、答えたりする。	Can you ~ ? Yes, I can./ No, I can't. play soccer, make an omelette play the piano, play kendama swim, play table tennis play the guitar, ride a unicycle		3	8				3	1, 9					
		友だちとどのようなことができるかを、尋ねたり答えたりする。	Can you ~ ? Yes, I can./ No, I can't.								1					
		自分ができることを発表したり、友だちの発表を理解したりする。	Hello. I can ~ ./ I can't ~ .													
Lesson 5 道案内をしよう	4	町中にある様々な建物の言い方に興味を持ち、理解する。	What's this? school, police box, bank, bus stop, flower shop, restaurant, hospital, post office, fire station, department store, train station, park, bookstore, barbershop							3					14	
		方向や動きを指示する表現を聞いて、理解する。	Where is ~ ? Turn right/left. Go straight. Stop.		5		3									
		方向や動きを指示する表現を使って、相手に目的の場所を教える。	Where is ~ ? Turn right/left. Go straight. Stop.					Reading 1		1, 3				Speaking 4		
		実際に道案内をしたり、案内に従って目的地に行ったりする。	Stop. Thank you.													

英語ノート 2				SUNSHINE 1							SUNSHINE 2				
Lesson	配当時数	目標	扱う表現	Let's Start	Program	Word Web	My Project	POWER-UP	英語のしぐみ	巻末資料	Program	My Project	POWER-UP	英語のしぐみ	巻末資料
Lesson 6 行ってみたい国を紹介しよう	4	世界には様々な英語があることを知る。	What country is this? I want to go to Italy. I want to eat pizza. 色: red, white, blue など 形: star, diamond, circle など	2				Speaking 4			6	5			
		行きたい国とその理由について聞き, 概要を理解する。	I want to go to ~ . I like ~ . I want to see ~ .	3	3				1	1					
		行きたい国を尋ねたり答えたりする。	I want to go to Italy. I want to eat <i>kimuchi</i> . I want to play soccer.												
		行きたい国を理由とともに言ったり, 相手の行きたい国と理由とを理解したりする。	Where do you go? I want to go to Italy. I want to play soccer.		5		3		3						
Lesson 7 自分の一日を紹介しよう	4	世界には時差があることを知るとともに, 時間についての表現を知る。	数字: one ~ sixty What time is it? It's 8:00 (eight) .			1									
		先生の一日の生活について話を聞き, その概要を理解する。	What time do you get up? I get up at 6:00 (six) .				3	Speaking 1	3	1, 12					
		自分の生活に関する表(生活表)を作成する。	What time do you get up? I get up at 7:00 (seven) .												
		作成した生活表をもとに, 自分の一日を紹介する。													
Lesson 8 オリジナルの劇をつくろう	4	世界には様々な民話や物語があることを知り, それらを興味を持って聞く。	grandpa, grandma, girl, dog, cat, mouse Please help me.		9										
		「大きなかぶ」の面白さを知り, グループで登場人物を変え, オリジナル「大きなかぶ」をつくる。	Please help me. Please help us.												
		グループでオリジナルの物語を創作し, 劇の練習をする。	Please ~ . Yo-heave-ho! ※児童が劇の中で使いたい表現。 (例) Come here. What's the matter?					Reading 1					Writing 2		
		オリジナル物語を発表したり, 他のグループの発表を聞いて理解したりする。	Please ~ . Yo-heave-ho! ※児童が劇の中で使いたいセリフ。 Very good. Good job! Excellent!												
Lesson 9 将来の夢を紹介しよう	4	様々な職業の言い方を知る。	teacher, doctor, racing driver, tennis player, cook, fire fighter, singer, nurse, astronaut, farmer, baseball player, soccer player, police officer, pilot, scientist, engineer I want to be ~ .								6	5			1, 10
		将来つきたい職業について話されていることを聞いて理解する。	What do you want to be? I want to be a teacher.											3	
		将来つきたい職業について, 尋ねたり答えたりする。	What do you want to be? I want to be a teacher. I like ~ .		3				1, 3	1					1
		スピーチ・メモをもとに, 理由を含め自分の夢を紹介する。	What do you want to be? I want to be a teacher. I want to ~ . I like ~ .											Writing 2	

# 『英語ノート』とSUNSHINEの語彙対応表

○は単語リストにない語

単語	SUNSHINE 1	SUNSHINE 2	SUNSHINE 3
actor	●		
actress	●		
and	●		
animal	●		
apple	●		
April	●		
art	●		
artist	●		
astronaut			
(flight) attendant		○付録 10	
August	●		
bag	●		
baker		○付録 10	
ball	●		
banana		●	
bank		○付録 14	
barbershop			
baseball	●		
basketball	●		
bath	●		
beach	●		
bear	●		
beautiful	●		
big	●		
bird	●		
birthday	●		
black	●		
blue	●		
book	●		
bookstore			●
box	●		
boy	●		
bread	●		
brother	●		
bus	●		
cabbage	○LS4		
cabin			
cake	●		
calendar			●
camel			
camera	●		
can	●		
cap	●		
car	●		
carpenter		○付録 10	
cartoonist		○付録 10	
case		●	
castle			
cat	●		
center		●	
cereal	●		
chef		●	
Christmas		●	
circle			
clean	●		
comedian			●

単語	SUNSHINE 1	SUNSHINE 2	SUNSHINE 3
computer	●		
cook	●		
cool		●	
craft			
(ice) cream	○LS3		
croissant			
cute		●	
dancer	●		
December	●		
dentist		○付録 10	
department (store)		○付録 14	
desert			
designer		○付録 10	
diamond			
dinner	●		
doctor		●	
dog	●		
donut			
dress	●		
drive			●
(taxi) driver			○付録 9
ear	○付録 p.136		
earth		●	
eat	●		
economic			
eight	●		
eighteen	●		
eighteenth			
eighth	●		
eighty	●		
elephant	●		
eleven	●		
eleventh	●		
engineer	●		
English	●		
eye		●	
farmer		●	
(high-) fashion			○付録 p.114
fast			●
father	●		
February	●		
festival		●	
fifteen	●		
fifteenth			
fifth	●		
fifty	●		
(fire) fighter	○付録 10		
fine	●		
fire		●	
first	●		
fish	●		
fisherman			○付録 9
five	●		
florist		○付録 10	
flower	●		
fly	○付録 p.134		

単語	SUNSHINE 1	SUNSHINE 2	SUNSHINE 3
follow			●
forty	●		
four	●		
fourteen	●		
fourteenth			
fourth	●		
Friday	●		
friend	●		
fruit		●	
giraffe			
girl	●		
glove			
go	●		
gorilla			
grandfather		●	
grandmother		●	
gratin			
green	●		
guitar	●		
Halloween			●
happy	●		
head	●		
heart			●
hello	●		
help	●		
hippo			
hippopotamus			
history	●		
home	●		
horse		●	
hospital		●	
hundred	●		
hungry		●	
ice (cream)	○LS3		
January	●		
Japanese		●	
juice	●		
July	●		
June	●		
kangaroo			
kitchen			
knee			
koala		●	
lawyer		●	
left		●	
lemon		○付録 14	
like	●		
lion	●		
look	●		
lunch	●		
make	●		
March	●		
math	●		
May	●		
me	●		
meet	●		

単語	SUNSHINE 1	SUNSHINE 2	SUNSHINE 3
milk	●		
Monday	●		
moon	○付録 p.133		
morning	●		
mother	●		
mountain		●	
mouse			
mouth	●		
music	●		
name	●		
New	●		
nice	●		
nine	●		
nineteen	●		
nineteenth			
ninety	●		
ninth	●		
no	●		
nose	●		
November	●		
nurse			●
nursery		●	
October	●		
office			●
officer			●
omelet			
one	●		
orange	●		
P.E.	●		
panda		●	
pant			
paper	●		
park	●		
peach			
pen	●		
pencil	●		
penguin	○LS4		
photographer			●
piano	●		
pilot		○付録 10	
pineapple	○LS4		
pink	●		
pizza	●		
play	●		
player	●		
please	●		
police			●
post		○付録 14	
programmer		○付録 10	
pudding			
puff			
pull	○付録 p.137		
pyramid			
rabbit			●
race			
red	●		

単語	SUNSHINE 1	SUNSHINE 2	SUNSHINE 3
restaurant		●	
rice	●		
ride			●
right	●		
rock		●	
roll	●		
salad			●
Saturday	●		
sausage		●	
school	●		
science		●	
scientist		○付録 10	
scissors			
sea			●
second	●		
see	●		
September	●		
seven	●		
seventeen	●		
seventeenth			
seventh	●		
seventy	●		
sheep			
shoe		●	
shop	●		
sing	●		
singer	●		
sister	●		
six	●		
sixteen	●		
sixteenth			
sixth	●		
sixty	●		
skirt			
sleepy	●		
soccer	●		
social			
sock			
soup			●
spaghetti			●
speak	●		
sphinx			
sport	●		
star	●		
station	●		
steak			●
stop	●		
store		●	
straight		●	
student	●		
study	●		
summer	●		
Sunday	●		
sweater	●		
swim	●		
table	●		
teach		●	

単語	SUNSHINE 1	SUNSHINE 2	SUNSHINE 3
teacher	●		
ten	●		
tennis	●		
tenth	●		
third	●		
thirteen	●		
thirteenth	○ p.67		
thirtieth	●		
thirty	●		
thirty-first			
three	●		
Thursday	●		
time	●		
toe		●	
together	●		
tomato		●	
tower			
train	●		
T-shirt	●		
Tuesday	●		
turn		●	
turnip			
TV	●		
twelfth	●		
twelve	●		
twentieth	●		
twenty	●		
twenty-eighth			
twenty-fifth			
twenty-first	○ p.67		
twenty-fourth			
twenty-ninth			
twenty-second			
twenty-seventh			
twenty-sixth			
twenty-third			
two	●		
unicycle			●
us	●		
very	●		
vet		●	
veterinarian			
volleyball	●		
walk	●		
want	●		
watch	●		
Wednesday	●		
well	●		
where	●		
white	●		
wrestler		●	
year	●		
yellow	●		
yes	●		
yogurt			
you	●		
zookeeper	●		

出典)中條清美・西垣知佳子・宮崎海理(2009)「小学校5・6年生「英語ノート」の語彙一覧」『日本大学生産工学部研究報告』。



# CD付きリーディング教材 新イージェストシリーズ

A1 (中学2年前期～)  
A2 (中学2年後期～)  
B1 (中学3年前期～)  
B2 (中学3年後期～)



**A2** Uncle Tom's Cabin  
アンクル・トムの小屋  
(ワークシート付き)

**B1** The Magic Violin & Beauty and the Beast  
魔法のバイオリン／美女と野獣  
(ワークシート付き)

**B1** The Prince and the Beggar  
王子とこじき  
(ワークシート付き)



**A1** Easy Aesop's Fables  
やさしいイソップ物語

**A2** Fifteen Fables from Aesop  
イソップ物語

**B1** Romeo and Juliet  
ロミオとジュリエット

**B1** O. Henry's Stories  
オー・ヘンリー短編集

**A1** Heart-warming Stories  
心暖まる物語

**A2** Jack and the Beanstalk & Other Stories  
ジャックと豆の木

**B1** Christopher Columbus  
コロンブス

**B2** Robin Hood  
ロビン・フッド

各A5判48頁(A1は40頁)2色刷り CD1枚付き 定価630円(本体600円)

▶新イージェストシリーズ全点のご案内とご注文書は裏面にございます。



開隆堂出版株式会社

## 教育現場と授業名人のコラボで生まれたワークブック



# わかる! わくわく英語 ワークブック

**好評発売中!** **SVC vs SVO**  
2層式学習で語順のつまずきを解消!

監修・編著

**中嶋 洋一** (関西外国語大学教授)

分担執筆

**英語をオモロウ教え隊**

A4判 / 144ページ ■ 定価735円 (本体700円)

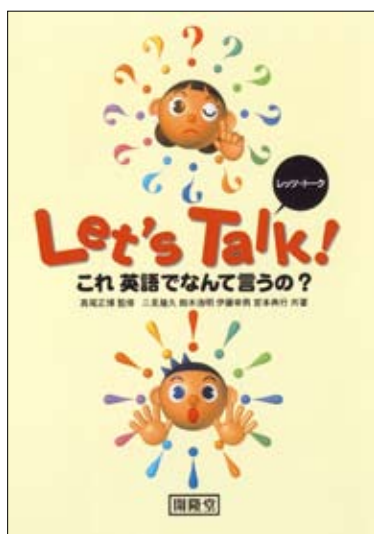
先生、何で「He is like sports.」がダメなの?

**生徒の疑問に答える待望の英語教材、ついに登場!**

- ★ SVCとSVOのちがいを画期的な2層式で学習できます。生徒の語順のつまずきはこれで解消!
- ★ 「語順」と「チャンク」を系統的に学習できます。



## 身近な語彙・表現を補充して、コミュニケーション活動をパワーアップ!



**好評発売中!**

### 中学・高校 英語副教材

B5判 / 48ページ / オールカラー

■ 定価500円 (本体476円)

レッツ・トーク

# Let's Talk!

**これ 英語でなんて言うの?**

元埼玉大学教授

真尾正博 監修 二見隆久 鈴木浩明 伊藤幸男 宮本典行 共著

- ・会話で使う語句・表現をジャンルごとにまとめた表現集です。
- ・「教室英語」、「部活動」、「修学旅行」、「一日の生活」、「芸能・ファッション」など、生徒の生活に密着したジャンル分けになっていて、極めて実用的であり、楽しく学習できます。

**教師用**

『Let's Talk! 活用の手引き』

B5判 / 36ページ ■ 定価1,000円 (本体952円) (Let's Talk! テキスト1冊付き)  
スピーキング活動のコツやプリント、教室英語表現集などを含んでいます。



**開隆堂出版株式会社** <http://www.kairyudo.co.jp>

本 社	〒113-8608 東京都文京区向丘 1-13-1	TEL. [代表] 03-5684-6111 [編集] 03-5684-6115 [営業] 03-5684-6121, FAX 03-5684-6122
北海道支社	〒060-0061 札幌市中央区南一条西 6-11 札幌北辰ビル 8F	TEL.011-231-0403
東北支社	〒983-0043 仙台市宮城野区萩野町 1-11-1 萩野町 Mビル 2F	TEL.022-782-8511
名古屋支社	〒464-0802 名古屋市千種区星が丘元町 14-4 星ヶ丘プラザビル 6F	TEL.052-789-1741
大阪支社	〒550-0013 大阪市西区新町 2-10-16	TEL.06-6531-5782
九州支社	〒810-0075 福岡市中央区港 2-1-5 FYC ビル 3階	TEL.092-733-0174